

oteshio 上頂台湾茶 邦カフェ

PM 1:00~7:00 日月光2階
中央区南1条東2丁目 和興ビル2階
TEL:011-271-9577
oteshio.com

ワインの食堂 マルベック

グラスワイン ¥600~
ボトルワイン ¥2000~
WINE BAR ¥600
ウツェのカツ丼 ¥800
アップルのアヒージョ ¥600

中央区南1条東5丁目 TEL/FAX 011-721-8800
ダイオードビル1F OPEN 18:00~23:00
www.facebook.com/sappormalbec

ピストロ エルスカ

LUNCH 11:30~12:30
BRUNCH 18:00~22:00
BAR 22:00~23:00

中央区南1条東5丁目 TEL/FAX 011-721-8800
ダイオードビル1F OPEN 18:00~23:00
www.facebook.com/sappormalbec

つばら

中央区南1条東5丁目
中央区南1条東5丁目 TEL/FAX 011-721-8800
ダイオードビル1F OPEN 18:00~23:00

アダンキ

中央区南1条東5丁目 TEL/FAX 011-721-8800
ダイオードビル1F OPEN 18:00~23:00

WORLD BOOK CAFE

札幌市中央区南1条西5丁目2 大沢ビル5F
TEL/FAX 011-206-7376
12:00~22:00 年中無休

早蕨鍼灸

札幌市中央区南3条東5丁目7番の三(原小川Aビル)
電話番号 : (011) 210-0788
店舗番号 : 金・土・日・月
営業時間 : 土曜日から日曜日まで(日曜日は7時~)

This is Singapore Style KOPITIAM

札幌市中央区南1条東1丁目日本洋貨ビル1階
営業時間: 12:30~18:30 定休日: 土・日・月

bonsaiのアトリエ kusa-tsutsuki

http://kusatsutsuki.com

ねら

札幌市中央区南1条東5丁目 18:30~24:00

器と雑貨 asa

札幌市中央区大通西8丁目2-39 北大通ビル11階
tel 011 206 6975
http://utsusa-asa.jpugems (blog)
http://utsusa-asa.net (webshop)

25歳以上限定 シューズセレクトショップ

SEVEN AND A HALF, LTD.
札幌市中央区南1条西5丁目7番の三(原小川Aビル)5F
tel: 011-641 030
www.sevenandahalf.com

1月2日(火)公開

花筐

「青春が戦争の消耗品だった時代の、
先人の断念と覚悟を示す痛みを、未来の人に伝えたい。」 大林宣彦

現在の情報社会では、すべての情報が当価値に横並びされ、知っているが他人事。この儘暴走すれば世界は再び戦火の中だ。しかし映画ではひとびとは虚実の中をさまい思考する。世界の絶への事象が自分事として捉えられる。時は現実を乗り越えるの発見に至る。青春が戦争の消耗品だった時代の一見放蕩無類にも見えるあの狂騒が、我が命に己が自由にさせよと願ったこの国の民衆たちの断念と覚悟を示す自虐の様であった痛みを、若い人にはぜひ実感して欲しい。

★1937年と2017年がシグナチャー。キネマ旬報2017年12月下旬号の石黒樹哉さんの「花筐」の作品群が素晴らしいので、一部を紹介させていただきます。

大林監督は元々平和を愛する映画作家ではあるが、2012年の「この空の花一長岡花火物語」から、次の「野のななのか」(2014年)にかけ、太平洋戦争の惨禍を直接的に訴えかけるようになった。それに比例するようになり、商業映画の枠組みを超え、自主映画時代の自由奔放な語り口を用いるようになった。

この2本に「花筐」を加えて「大林の戦争3部作」と呼ぶそうである。まもなく80歳になる大林監督が、軍国少年だった子供時代と同じ空気になつたことを察知して、後続の世代に警告を発した3部作である。「花筐」は前2作よりも、太平洋戦争前夜と現代のシグナル比率が高くなるべく訴えてきている。それは、日本社会が予想以上に速いスピードで新たな「戦前」へと進んでいることへの危機感の現れである。大林監督が関病によって、自身の命に強く向き合っていることも無関係ではあるまい。

1月19日(金)夜 代島監督は、東京の「BOX 東中野」を始めた時の支配人である。三里塚のイカロス インディペンデントの作家達の拠点づくりに奔走し、その後自主監督プロデューサーとして、主に2010年代後半から、沖縄舞台の「パナツナル・アツアス」(1992年)の上映で出会い、全国のミニシアターを巡って紹介した「ミニシアター巡礼」という本も出版、シアターキネの大切な友人です。

FRIDAY フライデーシネマ

vol.28 悪魔絨い。聖なる儀式
2/23 外部に閉ざされてきた悪魔絨いの儀式にカメラが潜入、神父が悪魔の前に立ちはたか。

オーガニック・自然食品専門店 らんく

札幌市中央区大通西23丁目
tel 011-614-2406 Fax 014-3836
http://hospage.nifty.com/raru/

名作揃い。

北海道の、転輾・就職・退職

ジョブキョウ

体験乗馬チケット 10,000円(税別)
4回×30分/期間無し/予約あり

1月6日(土)公開

否定と肯定

ユダヤ人歴史学者と否定論者、
舞台は2000年、ロンドン法廷

ユダヤ人歴史学者デボラ・エリッシュタットは、イギリスの歴史家デイヴィッド・アーヴィングが訴える大量虐殺はなかったとする「ホロコースト否定論」を看過できず、著書で真っ向から対立する主張を繰り広げていた。しかし、アーヴィングは、名誉毀損でリップシュタットを提訴、異例の法廷対決が始まった。この裁判は、開始時から欧米でセンセーショナルに報道され、判決の行方は、ユダヤ人だけでなく、世界の知識層や学者などからも注目された。

裁判の行方を混沌とさせたのは、アーヴィングが提訴した先が、英国の王立裁判所という点だった。英国の司法制度は、訴える側ではなく、訴えられた側に立証する責任がある。それゆえ、訴えられたリップシュタットは、裁判でアーヴィングが唱える「ホロコースト否定論」を崩す必要があった。ナチスによる大量虐殺はあったのか、なかったのか。世界中のマスコミが注目する中、歴史の真実を争う裁判は判決の日を迎えた。

このドラマチックな裁判を映画化するにあたって、膨大な裁判資料をすべて読み込み、事実を指くという信念のもと、裁判の再現に真摯に取り組んだのは、「愛を説く人」の脚本家デヴィッド・ヘアと、「ボディガード」ほか多くのドキュメンタリー作品の監督ミック・ジャクソン。「ホスト・トルース」「フェイスユース」といった、技じ曲げられ理論であっても、それを声高に主張すれば世間に認められるという現代の風潮にも警鐘を鳴らし、普遍的なテーマを投げかけている。

2月1日(木)公開

スリー・ビルボード

誰もとり着いたことのない結末へと連れ去る
衝撃と感動のクライム・サスペンス

アメリカの片田舎の大通りになりふ3枚の看板に、ある日突然現れた真っ赤な広告。それは何もない田舎町に吹き荒れる予想もしない嵐の前触れだった。ミルドレッド、彼女7ヶ月間、何者かに娘を殺された…

本作の制作にあたって、脚本執筆から始めたマーティン・マクドナー監督は「腹を立てた母親が看板を責めろ話にしよう決めたが、そこから先はほとんど自然に話が進んでいった。主人公のミルドレッドは強断固執していて、怒り狂っているが、それでいて心は深く傷ついている。これがストーリーの発端だった。」

物語の核になるのは、ミルドレッドと警察署長の対決。「ある程度は正しい立場にある二人の戦いだ。そこは、非常に多くの緊張感とドラマが生まれる。行き場のない喪失感や怒りを抱えた時あなたはどこに向かうか希望が生まれるまで波風をたて続けるどうなるのか、これを探求するのは面白いと思った。だからこそ、本作は他のクライム・ストーリーとは違うのだと思う。ここでは「犯罪に何も解決法がないとしたらどうなるのか?」監督にとって最大のチャレンジとなったのは、ダークなユーモアとシリアスなテーマのバランスをとることだった。登場人物それぞれに何らかのユーモアがあるはずだと信じた。「出発点はとても悲しいが、コミカルなところが多く、ところどころ感動的なればい、これが人生に対する私の見方だ。悲しみに直面しているが、ユーモアをもって絶望と向き合い、葛藤している。」それはコメディと悲しみの綱渡りをする独創的な語り口の映画となった。そして、ミルドレッドには、彼女しかない。フランス・マクドマンド。

ベネチア国際映画祭観客賞、トロント国際映画祭観客賞、ゴールデングローブ賞作品賞・女優賞・脚本賞など最多6部門ノミネート、本年度アカデミー賞最優秀功の注目作。

Kino Cafe

1枠(縦24mm×横48mm) ¥5,000
15,000部発行

札幌市中央区南3条東6丁目 南3条グランドビル2F
(シタターキネロビー) 電話 011-231-9776

open 11:00~19:30 (土)19:00
closed 火曜日、第2・4木曜日

MOVE LINEUP
2017.12~2018.3

111

THEATER KINO

今号のごあいさつ

早いもので、今年もあっという間に支えられた1年でした。大変ありがとうございました。そして出来上がりましたムービーラインナップ11月号を新年を迎えます。「風は吹けば、枯れ葉が落ちれば、土が肥えれば、土が肥えれば、果実が実る。このつづり、人生、フィルム、自分たちを取り巻く世界がどんなに変化していても津路修一さんと英子さんは大事にしたい暮らし、人生を育ててきました。声高にさげぶのでもなくココロづくりに50年、51年…。そのことが今の私達にどれだけ励みと勇気を与えてくれるか、この出会いに深く感謝します。2017年2月11日に公開、2018年2月に1月号を迎えます。伏原監督にお越しいただいて「人生フィルム」その後の英子さんと樹木希林さんの女談「居酒屋はあは」を特別上映です。どうぞお楽しみください。フィンランドから届いた希望の新作、アキ・カウリスマキ監督「希望のかたがた」。故郷を否定など過つた人々の願いに、名もなき人々が手を差し伸べる。人間として生きる、そんな思いやり、ちいさなやさしさが、どうも多くのみなさんに伝わっていきましますように。

今年もケン・ローチ「私はダニエル・ブレイク」、ジム・ジャームッシュ「バタソン」が公開になり、そして新年にはカウリスマキが。私たちの大好きな監督たちです。様々な世界で生きる、みな市井の人たちが助け合って生きる心温まる物語です。「このつづり」を合言葉に、2018年もキノをどうぞよろしくおねがいします。

2017年ベスト10募集!【締切】1月7日(月)お昼の12時 【発表】1月10日(水)
2018年度キネ/会員募集12月16日~開始【締切】2018年5月31日(木)
ピンチ・ジュニア・学生会員ご利用期間:2018年4月1日~2019年3月31日

上映時間	内容	上映枠	券額	備考
11:00	東洋人ズ	47日プラチナ	15,000円	第1
13:00	シタターキネ	札幌市ナナイロ(旧大沢ビル)	5,000円	第2
15:00	シタターキネ	札幌市ナナイロ(旧大沢ビル)	5,000円	第3
17:00	シタターキネ	札幌市ナナイロ(旧大沢ビル)	5,000円	第4